

楽 パワフル・ジャンプきくがわinアエル・生活環境フェスタ 楽しく防災や環境について学ぶ



▲1大切なペットと安全に避難する方法を実践する 2 HUG (避難所運営ゲーム)で避難所での出来事や避難者対応を模擬体験する 3釣りのゲームで楽しく6R(ごみを減らす6つの行動)を学ぶ参加者 4下水道管内を調べる点検ロボットと、高圧放水で洗浄する機械を見学

7月24日、文化会館アエルで子育てサポーターほれほれ主催の「パワフル・ジャンプきくがわinアエル」が開催されました。家族連れなどおよそ300人が、風水害時の行動計画「マイ・タイムライン」の作成や、避難所生活用の段ボールベッドの体験など、さまざまな催しを通じて、家族で楽しく防災を考えました。また、ペットとの同行避難の方法を学ぶコーナーでは、風呂敷をハンモック状にしてペットを抱くスリングの作り方を体験しました。

同日開催された生活環境フェスタでは、下水道管の点検ロボットやマンホールポンプのデモを通じて、下水道の仕組みが紹介され、来場者は環境保全に対する理解を深めました。

倉 グリーン・ツーリズム事業 沢の和紅茶に親しむ

7月3日、上倉沢公会堂で和紅茶作り体験と世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の学習会が行われました。せんがまちの棚田(倉沢)の景観を肌で感じ、茶農家と交流して菊川茶のファンを増やすことを目的に、NPO法人せんがまち棚田倶楽部のぶひろが開催。棚田オーナーなど14人が、同倶楽部の堀延弘さんから教わりながら、茶草場農法で育てた無農薬の茶葉で和紅茶作りに挑戦しました。茶葉を手で揉んで、ざるに敷いた紙に押し付けるようにひねって水分を取る工程を体験し、参加者はお茶作りの楽しさと大変さを体感しました。



▲1ざるの上で丁寧に揉む 2自分で作った和紅茶を味わう

地 課題解決型キャリア教育 地域のプロフェッショナルから学ぶ

小笠高校は、生徒が自らアイデアを生み出し具体的に企画する力を育むため、課題解決型のキャリア教育を実施しています。7月2日に行われた第1回「菊川市で活躍している大人の活動を知ろう」では、多文化や福祉、スポーツなどの分野で活躍する社会人9人から、仕事内容や地域課題を教わりました。仕事の目的や課題解決の取り組みなどが話されると、生徒は熱心にメモを取りました。今後、生徒は地域課題をどう捉えたかを話し合い、チームで課題解決となる活動を企画。9月に校内で発表を行う予定です。



▲スポーツインストラクターの名倉偉能ひでのりさんから学ぶ